

センター「つどい」新規登録団体紹介①  
『ほほえみ』（2010年6月7日登録）

【沿革】

八尾市シルバーリーダー講習会&上級コース14期修了のOB18名がボランティア団体として活動し、名称を『ほほえみ』と改名したのが2012年4月3日の事でした。現在は31名を数え、今年度発足1年目で社会福祉協議会の会員登録も申請しています。センター「つどい」の「ニュースつどい」の発送のお手伝いや、八尾市高齢者ふれあいサロン「ファミサロン えんがわ」へもお邪魔しており、当会のチラシも置いています。

【活動】

私たちは高齢者の健康づくりがテーマです。自分たちも日々研鑽を積むと共に、一般の方々に特に高齢者と一緒に当会のモットーである、健康長寿を願い、「予防は治療に勝る」を合言葉に無理のない健康づくりを心がけています。一人ではどうしても続かないですが、孤独はだめです。皆と共に笑い合い励ましあって、簡単な事でも継続する事が一番です。この機会に『ほほえみ』と一緒に健康づくりに若さと機敏な体・美肌を取戻しませんか？笑いは百薬の長です。元気な明るい生活をしましょう。



▲ 健康ダンスの基礎



▲ ストレッチーヨガ



▲ 介護施設慰問風景

一般参加募集中～お待ちしております

◎健康ダンスの基礎&ストレッチヨガ

基本毎月第2・4火曜日（3月は第1火曜日）

日時：3月5日（火）・26日（火）/4月9日（火）・23日（火）

13：30～15：45（途中15分の休憩時間を含む）

場所：サポートやお2F会議室1・2

◎介護施設慰問月1回 ほほえみ会員有志

◎街並みウォーキング、ラジオ体操（4ページに掲載！ぜひご覧下さい！！）

【お問合せ・お申込み】

ほほえみ 島村よしののぶさん TEL072-993-5069

- 「へえ、面白いですね。三月十日からは大阪場所、楽しみですわ。」
- 「ふうくん。そんなん、どうして調べたんですか。」
- 「文献があまりないので、各共同墓地を巡り墓碑を見つけるそうです。ところで墓地のお話ですが、生きている間に墓を作るのを逆修（ぎやくしゅう）といいます。相撲部屋の親方は逆修で、生前に墓碑を造り、家の門前に据えておき、亡くなると墓地に移すらしいです。また久宝寺の東川部屋の藤右衛門さんの墓は軍配の形をしています。」
- 「現在の八尾市内では、どんな相撲部屋があったんですか。」
- 「久宝寺地区に磯川部屋・東川部屋、八尾地域の二ツ引部屋、市南部の絹川部屋、万願寺地区の鶴渡部屋、上之島地区の大井川部屋、萱振地区の森山部屋、市東部では三ツ山部屋・いろは部屋などです。普通は一〜二村に一部屋ですが、久宝寺は二つあります。それは長瀬川の水運が盛んな頃、久宝寺船着場には力自慢の沖仲仕（おきなかし）さんが、大勢いて、村相撲に参加したからやそうです。」
- 「今回は村相撲が話題のようですが？」
- 「はい、村相撲は、元は氏神さんの祭に奉納してたんですが、娯楽の少ない頃のこと、庶民の楽しみになっていったようです。」
- 「能楽や村芝居も同じような経過で発展しますね。」
- 「明美町にお住まいの奇本（さきもと）氏の調査結果によりますと、河内では江戸時代、十八世紀末頃には相撲部屋が組織されるようになり、明治時代になると約八十の相撲部屋ができたそうです。また、戦前までは、素人も混じって神社の境内や御旅所（おたびしょ）で相撲をとっていたそうです。」
- 「大相撲初場所は高安が健闘しました。本名らしいですが、河内高安と関係あるのですか。」
- 「茨城県土浦市出身22歳、鳴戸部屋、前頭七枚目。河内高安とは無関係ですけど、高安駅前商店街などは盛り上がりはるらしいです。」
- 「歴史民俗シリーズ 八尾 なんやかや 14 「村相撲」」